

日本英学史学会 中国・四国支部
平成 28 年度 総会・第 1 回 (通算 74 回) 研究例会のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当支部の発展のために温かいご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、平成 28 年度支部総会、及び第 1 回 (通算第 74 回) 支部研究例会を下記の要領で開催いたします。今回の研究例会では、研究発表ならびに資料紹介が予定されています。お誘いあわせの上ご参集くださいますよう、ご案内申し上げます。末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。 敬具

日本英学史学会 中国・四国支部

| |
|---|
| 日 時： 2016 年 5 月 28 日 (土) 12:30 受付開始 |
| 会 場： 安田女子大学 9 号館 9523 教室 (5 階) (アストラムライン安東駅より徒歩 4 分) |
| 〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東 6-13-1 TEL 090-1185-4814 (会場担当 松岡携帯) |
| 参加費： 会員、非会員とも無料 |

支部総会 (13:20~13:50)

議長選出、前年度活動報告、会計報告、会計監査報告、新年度活動計画、他

開会行事 (14:00~14:05) 支部長挨拶

研究発表 (14:05~15:15)

「助動詞「た(だ)」の英・仏語訳をめぐって—『出家とその弟子』とその英仏訳本からの考察—」
野村 勝美 (日本英学史学会中国・四国支部会員)

| |
|--|
| 日本語では助動詞「た(だ)」を使って、すでに起きた出来事や状態を表すのに対して、英・仏語での表現はすこぶるコンプレックスである。両者の翻訳関係を、幸い手元にある、倉田百三の『出家とその弟子』とその英訳本と仏訳本とを用いて明らかにしてみたいと今回取り組んだ。所期のねらいを一応明確にできたので、報告してみたい。 |
|--|

資料紹介 (15:30~16:40)

『広島英学史事典』掲載項目候補リストにみる広島英学の系譜」

馬本 勉 (県立広島大学)

| |
|---|
| 中国・四国支部の前身である広島支部において、『広島英学史事典』の出版を目指した小委員会が昭和 57 年に発足し、小項目(見出語)選定の作業が進められた。この事典は完成をみていないが、昭和 58 年にまとめられた小項目一覧には、広島の英学を知る上で重要な人名 300、学校名 80、事項ほか 150 が収録されている。本発表では、30 年以上前に作成された小項目一覧(手書きリスト)を紹介し、広島英学の系譜を見つめ直す機会としたい。 |
|---|

閉会行事 (16:45~17:00) 副支部長挨拶、写真撮影

懇親会 (18:00~20:00)

とり楽 毘沙門店 (広島市安佐南区大町東 4-10-28 TEL 082-879-3166) 会費 3,500 円